みんなでつくろう 安心なまち

人と人とのつながりが希薄になると、周囲に対して無関心であったり、近所に住む人の顔や名前も知らなかったりするため、不審者が近所をうろついていても気づかない、見て見ぬふりをするなど、地域社会の犯罪を防止する力が低下すると言われています。安全で安心して暮らしていくためには、そこに暮らす人たちが一体となり、自分たちの地域の安全を守るための活動をしていくことも重要です。例えば、町内でのあいさつ、通学路の立ち番など、地域の中でのちょっとしたコミュニケーションによって地域を見守る機会が増えることになり、不審者を寄せ付けにくくする効果が望めます。また、ウォーキング、ジョギング、買い物、犬の散歩、花の水やり等の日常生活や事業活動の機会に、防犯の視点を持って見守りを行う「ながら見守り」という取り組みもあります。無理せず、できることから始めましょう。

防犯一口メモ